

水稻の生育状況と今後の管理対策（臨時号）

ただちに「コシヒカリ」の中干しを開始してください

令和3年6月14日
新潟県農林水産部

〔気象と生育の状況〕

- ◎ 北陸地方の梅雨入りが平年（6月11日）より遅れており、本日発表の週間予報では、県内の最高気温が連日30度近くに達する予想となっていることから、高温によりコシヒカリの生育が早まり、茎数が急増する見通しです。
- ◎ 5月中旬以降田植えのほ場でも、すでに中干し^{*1}開始の適期に達しています。中干しの開始が遅れると、昨年のような著しい倒伏や、根の発達不良による収穫時の株抜けなど、コシヒカリの玄米品質と作業性の大きな低下につながることを懸念されます。

*1 中干し（なかぼし）：田の水を落として、一時的に田を乾かし、稲の生育量を適正に保つ作業

〔今後の管理対策〕

- ◎ 田植え後30日に達しているほ場では、茎数過剰を防ぐため、ただちに中干しを開始してください。
- ◎ 高地力など、生育が過剰になりやすいほ場では、強めに中干しを行ってください。
- ◎ 中干しの効果を十分に発揮させるため、本格的な梅雨の前に溝切りを必ず実施してください。



- ◎ 中干しの強さは、小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度とする。